

平成22年度

事業報告書

(第4期事業年度)



自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

北海道公立大学法人 札幌医科大学

目 次

1 大学の概要

(1) 大学名	1
(2) 所在地	1
(3) 役員の状況	1
(4) 学部等の構成	1
① 学部等	1
② 大学院	1
③ 附属病院	2
④ その他の附属施設等	2
(5) 学生数及び教職員数	2
(6) 沿革	2
(7) 建学の精神	3
(8) 理念	3
(9) 行動規範	3
(10) 中期目標（基本目標）	3

2 業務の実績

(1) 総括	4
(2) 計画の主な実績	4
第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	4
第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置	7
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	7
第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	7
第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	7
第6 予算、収支計画及び資金計画	8
第7 短期借入金の状況	8
第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	8
第9 剰余金の使途	8
第10 その他	9
別紙	10

北海道公立大学法人札幌医科大学事業報告書

1 大学の概要

(1) 大学名

北海道公立大学法人札幌医科大学

(2) 所在地

北海道札幌市中央区南1条西17丁目291番地85

(3) 役員の状況

役 職	氏 名
理 事 長 (学長)	島 本 和 明
副理事長	平 山 和 則
理 事	黒 木 由 夫
理 事	乾 公 美
理 事	塚 本 泰 司
理 事	白 崎 賢 治
監 事	籾 本 道 男
監 事	渡 辺 英 一

(4) 学部等の構成

① 学部等

医学部 医学科
保健医療学部 看護学科
理学療法学科
作業療法学科
医療人育成センター

② 大学院

医学研究科 医科学専攻 (修士課程)
地域医療人間総合医学専攻 (博士課程)
分子・器官制御医学専攻 (博士課程)
情報伝達制御医学専攻 (博士課程)
保健医療学研究科 看護学専攻 (博士課程前期・後期)
理学療法学・作業療法学専攻 (博士課程前期・後期)

③ 附属病院（平成23年4月1日現在）

診療科数	23 診療科
病床数	938 床
室数	273 室

④ その他の附属施設等

附属総合情報センター、附属産学・地域連携センター、
医学部附属教育研究機器センター、医学部附属動物実験施設部、
医学部附属フロンティア医学研究所

(5) 学生数及び教職員数（平成23年4月1日現在）

学部学生	1,006 人
大学院生	287 人
研究生	195 人
訪問研究員	5 人
留学生	9 人
教員数	377 人
役職員数	1,128 人

(6) 沿革

本学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校を基礎に、戦後の新制医科大学第一号の医学部医学科の単科大学として開学した。
その後、平成5年には札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年開学）を発展的に改組することにより、保健医療学部として開設し、本道で唯一の公立医科系総合大学として発展してきた。
この間、医師をはじめとする多くの医療人を育成するとともに、先進医学・保健医療学の研究や高度先進医療の提供、さらには地域への医師派遣などを通じて、北海道の医療・保健・福祉の向上に大きく貢献してきた。
また、平成19年4月には新たな理念及び行動規範を掲げ、理事長のリーダーシップのもと最高レベルの医科大学を目指して、北海道公立大学法人札幌医科大学として新たに出発した。
さらに、平成20年10月には、新たな教育組織として、教養教育と専門教育（医学及び保健医療学）の有機的連携の下、高度な医療技術を有し、かつ、高い医療倫理と教養を備えた人間性豊かな医療人を育成することを目的に、医療人育成センターを開設した。

(7) 建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

(8) 理念

- 最高レベルの医科大学を目指します
- ・人間性豊かな医療人の育成に努めます
 - ・道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
 - ・国際的・先端的な研究を進めます

(9) 行動規範

1. 医学と保健医療学を通じて、北海道そして広く日本社会さらに世界に貢献します。
2. 最高の研究・教育・診療レベルを目指します。
3. 法令を遵守し、生命倫理・研究倫理・社会倫理を尊重します。
4. 地域と社会に対して必要な情報を公開します。
5. 人権・人格・個性を尊重し、差別・ハラスメントの無い環境を目指します。
6. 生命倫理・社会倫理を脅かす反社会的行為に対し毅然として対応します。
7. 地域・地球環境を守り、環境の保全・改善のために行動します。

(10) 中期目標（基本目標）

- 1 創造性に富み人間性豊かな医療人を育成し、本道の地域医療に貢献する。
- 2 進取の精神の下、世界水準の研究を推進し、国際的な研究拠点の形成を目指す。
- 3 高度先進医療の開発・提供を行い、本道の基幹病院としての役割を果たす。
- 4 健康づくり・疾病予防の視点に立った総合的な地域医療支援ネットワークの形成に努める。
- 5 最新の研究・医療に関する情報の地域社会への提供やより一層の産学官連携を進め、研究成果の社会還元を努める。
- 6 国際交流を推進し、国際的医療・保健の発展に寄与する。

2 業務の実績

(1) 総括

本学は、公立大学法人として発足後、平成22年度で4年目を迎え、中期計画に基づき、順調に運営している中、現中期計画が残り2年となることから、取組が遅れている項目・課題を中心に積極的に取組を進めた。

また、平成22年度に開学60周年（創基65周年）を迎えたことから、「記念講演会」等の記念事業を実施したほか、北海道新聞社との協力により、朝刊に本学のあゆみや取組を紹介した広告を折り込み、本学がこれまで行ってきた地域医療の貢献に対する実績及び今後の方針等について広く道民への周知に努めた。

教育の分野における具体的な取組については、本学教員の教育能力、教育水準及び質の向上を図ることを目的に、「教育評価委員会」を設置し、鋭意検討を行ったほか、両学部において学生にきめ細かな授業の提供に向けて、カリキュラムの再編・準備に取り組んだ。

研究の分野においては、引き続きトランスレーショナルリサーチ事業の推進に取り組んだほか、北海道地域医療再生計画に基づき、3つの特設講座を設置し、道民の医療・保健・福祉に関する社会的要請の高い研究を推進していく体制を整備した。

附属病院においては、病院経営にあたり、収支等の経営指標に係る進捗状況をその都度報告・把握し、目標達成に向けた具体的な取組を指示するなど、一層の改善に向け、積極的に取組を行った結果、大幅な収支改善を実現した。

業務運営においては、引き続きプロパー職員の採用に努めたほか、法的義務である7年ごとの認証評価機関（大学基準協会）による認証評価を受審し、大学基準に適合していると認定された。

また、社会貢献・財務内容の改善の一環として、大学施設の開放に関し、本学の「講堂」及び「記念ホール」の利用提供に向けて検討を行い、使用基準、使用料金、手続等を定め、平成23年度から施行することとしたほか、大学グッズの作成・販売に向け、要綱等を整理するなど準備を進めた。

今後も、中期目標の達成に向けて、人的、物的ネットワークを活用し、理念に掲げる最高レベルの医科大学を目指し邁進していくものである。

(2) 計画の主な実績

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

○両学部共通科目化の検討、学内における単位互換制度の導入

「心理学（医学部）」と「心理学概論（保健医療学部）」について平成23年度から両学部共通科目として実施することを決定した。

また、「物理学（医学部）」と「生命の物理学（保健医療学部）」の科目で平成23年度から単位互換を導入することを決定した。

○「教育評価委員会」の設置

本学教員の教育能力、教育水準及び質の向上を図ることを目的に、学長を委員長とする「札幌医科大学教育評価委員会」を設置し、検討を行った。

※主な検討結果

・学生による授業評価結果の授業への反映方法等について検討を行った結果、両学部とも結果をホームページ上で公表し、結果の周知に努めた。

・学生による投票で評価の高い教員を表彰し、インセンティブを与える「ベストティーチャー賞」の導入について検討を行い、平成22年度においてトライアルを実施した。

○地域医療再生計画に基づく特設講座の設置

北海道地域医療再生計画に基づき、次のとおり特設講座を設置し、道民の医療・保健・福祉に関する社会的要請の高い研究を推進していく体制を整備した。

○「オホーツク医療環境研究講座」

- ・北見赤十字病院からの申出により設置。(8月1日付)
- ・研究概要…オホーツク圏域における地域医療を担う医療従事者に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究及びその実践。

○「道民医療推進学講座」

- ・道からの申出により設置。(9月1日付)
- ・研究概要…地域医療の確保を目的に、地域医療を担う医師の養成に関する調査、研究。

○「南檜山周産期環境研究講座」

- ・道からの申出により設置。(9月1日付)
- ・研究概要…南檜山地域の周産期医療を担う医師の養成及び安全な分娩体制の構築について調査、研究。

○トランスレーショナルリサーチ事業の推進

文部科学省から委託を受けている「橋渡し研究支援推進プログラム『オール北海道先進医学・医療拠点形成』」により設置した北海道臨床開発機構の支援を受け、重点的研究の一つである脳梗塞治療の研究を推進するため、「教育研究機器センター管理運営規程」の改正及び「細胞プロセッシング施設管理運営細則」を制定し、CPC（細胞プロセッシング施設）を運営するための体制を整備した。

さらに、「治験センター設置要綱」などを制定し、医師主導治験を行うための体制を整備したほか、当該研究の先進医療及び医師主導治験の申請等に向けた準備を支援した。

なお、北海道臨床開発機構の廃止（平成24年3月末）を見越して、本学に今後の事業運営を担う「トランスレーショナルリサーチセンター」を設置した。

○大学開放施設の範囲、料金設定の検討

大学施設の開放に関し、住民などから、本学の「講堂」及び「記念ホール」の利用可否に関する照会・要望が多く寄せられていることから、ニーズがあると判断し、両施設について有料で学外者の使用に供することを決定し、使用基準、使用料金、手続き等に関し、検討を進めた。

その結果、使用基準等を整理した「札幌医科大学施設の使用取扱要領」を制定し、平成23年度から施行することとした。

○新たな大学との交流協定の検討

平成20年度から相手方の都合により中止となったカルガリー大学臨床実習にかわる派遣先として、アジアパシフィックを中心に英語で臨床実習が可能な大学として「韓国カトリック大学」と協議を行った。

また、保健医療学部の研究交流促進を図るため、「香港理工大学」と学部間交流の覚書を平成23年2月に取り交わした。交流期間を2年間とし、当該期間の交流実績を踏まえ、協定締結について判断することとした。

○医学部附属フロンティア医学研究所の設置

「研究所・機器センター再編検討WG」において検討を行い、平成23年4月から新たな研究組織として「フロンティア医学研究所」、研究支援組織として「教育研究機器センター」として再編することとした

○診療支援要請への対応

平成22年度は、緊急的な医師派遣の要請は無かったが、地域医療機関へ次のとおり診療支援を行った。

※派遣要請…2,143件 派遣実績…2,020件（応諾率94.3%）

※公的医療機関への派遣割合…59.06%

○開学60周年(創基65周年)記念事業の実施

北海道新聞社との「健やか北海道プロジェクト」を活用して、朝刊に本学のあゆみや取組を紹介した広告(タブロイド版、全面カラー、4ページ)を折り込み、札幌圏に38万部配布したほか、道内全市町村、病院、高等学校等に配布して周知を図った。

また、札幌医科大学開学60周年(創基65周年)「記念講演会」(道民公開講座)については、プレスリリースを行ったほか、上記タブロイド版で紹介したことにより、定員(350名)を上回る申し込みが殺到する結果となった。

○図書館サービスの向上に向けた検討

「附属総合情報センター運営委員会」等で検討し、次のとおり実施した。

※学術文献検索システムの改修内容

- ・「Web of Science」の更新し、提供を行った。
- ・道内医療機関発行誌全文の電子化の募集を行い、10機関719件を新たに公開した。
- ・機関リポジトリの改修を行った。
- ・横断情報検索システムのオープンライセンスのソフトウェア導入により新たな検索画面を構築した。

○各種教育研究機器等の他機関への貸出範囲・料金の検討

「研究所・機器センター再編検討WG」を設置し、新研究所の研究部門、教員定数、教育研究機器センターの組織、所管業務内容、再編方法と時期などの検討を行い、検討結果報告書を取りまとめた。

この報告書を受け、「教育研究機器センター管理運営委員会」において、所管機器の外部利用について検討を進め、教育研究機器の外部利用制度を創設したほか、外部利用対象機器候補の選定を行った。

○附属病院における経営改善の推進

経営指標(KPI)を設定し、病院運営会議、業務連絡会議、役員会及び役員会懇談会等の定例会において、進捗状況を報告し、病院長のリーダーシップの下、目標達成に向けた取組を推進した。

また、特段の対策が必要な局面においては、病院長より診療科長等あて個別に経営改善に係る指導を行い、収支改善に寄与した。

さらに、病院経営の一層の改善を図るため、平成23年度より新たに「病院経営・管理部」を設置することを決定した。

○病院機能評価の継続認定の取得

改善要望事項(抗がん剤の調製・混合)に関し、6月に確認審査を受審した結果、継続認定となり、認定証の交付を受けた。

第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

○不正防止プログラムの策定

公的研究費の適正な管理・執行を図るため、平成23年3月に「北海道公立大学法人札幌医科大学における競争的資金等の使用に関する不正防止プログラム」を策定した。

○多様な年齢層のプロパー職員の採用

平成22年4月1日付で、事務局に、専門的経験を有する者等プロパー職員を10名配置した。

○職員の適切な評価制度の構築

職員の勤務実績を踏まえた評価制度として、「勤勉手当に係る勤務実績評価制度」を導入し、平成22年12月期の勤勉手当から実施した。

勤務実績評価制度は、毎年6月期及び12月期の年2回の勤勉手当において実施するもので、評価結果に基づきインセンティブを付与するものとなっている。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

○附属病院の経営状況の把握等

附属病院の月別収支状況（KPI）を毎月の役員会に報告し、対応策の検討を行ったほか、過去3年間の財務状況をまとめた「財務報告書」を作成し、情報共有を図った。

○各種グッズ、刊行物の作成・販売

「札幌医科大学広報委員会一般広報部会」で検討を進め、グッズに入れるシンボルマークやロゴマークの取扱いに関し、使用許可、著作物利用料等について定めた「取扱要綱」や著作物使用許諾契約書のひな形を作成した。

また、北海道弘仁会とグッズ作成の話を進め、取扱要綱に基づき平成23年度中に所定の事務手続きを行い、作成・販売する予定となっている。

第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

○認証評価の受審

平成20・21年度に実施した自己点検・評価に基づき、(財)大学基準協会による認証評価を受審した。

その結果、平成23年3月30日に、大学基準に適合していると認定された。

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

○「ESCO事業」の検証

事業開始から2年目となり、コージェネレーションが本格的に稼働し、省エネ率の検証を行った結果、当初予定の省エネ率11%を5%上回る「16%」の削減効果があったほか、7月～9月の猛暑においても、北電からの購入電量を削減するなど、大きな効果が発揮された。

第6 決算、収支計画及び資金計画

別紙のとおり

第7 短期借入金の状況

※平成22年度の計画

①短期借入金の限度額

18億円

②想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすること。

※平成22年度の実績

該当なし

第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

※平成22年度の計画

該当なし

※平成22年度の実績

該当なし

第9 剰余金の使途

※平成22年度の計画

全学的視点に立ち、教育・研究・診療の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

※平成22年度の実績

知事の承認を受けた目的積立金のうち19百万円を研究の質の向上等に充てた。

第10 その他

1 施設及び設備に関する計画

※平成22年度の計画

(単位：百万円)

施設・設備の内容	予定額	財源
施設整備事業費	567	施設整備費補助金
医療機器整備費	520	長期借入金

※平成22年度の実績

(単位：百万円)

施設・設備の内容	実績額	財源
施設整備事業費	540	施設整備費補助金
医療機器整備費	520	長期借入金

2 人事に関する計画

※平成22年度の計画

業務実績報告書の第2の3「人事の改善に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり

※平成22年度の実績

業務実績報告書の第2の3「人事の改善に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり

3 積立金の使途

※平成22年度の計画

該当なし

※平成22年度の実績

該当なし

別紙

平成22年度 決算

北海道公立大学法人札幌医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,528	6,534	6	
施設整備費補助金	567	540	△ 27	
自己収入	21,014	22,526	1,512	
授業料及び入学金検定料収入	905	866	△ 39	
附属病院収入	19,505	20,775	1,270	
雑収入	604	885	281	
受託研究等収入及び寄附金収入等	967	1,726	759	
長期借入金収入	520	520	0	
目的積立金取崩	27	19	△ 8	
計	29,623	31,865	2,242	
支出				
業務費	27,526	28,224	698	
教育研究経費	1,659	1,680	21	
診療経費	10,458	11,626	1,168	
人件費	14,911	14,436	△ 475	
一般管理費	498	482	△ 16	
施設整備費	1,087	1,060	△ 27	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	736	663	△ 73	
長期借入金償還金	274	273	△ 1	
計	29,623	30,220	597	
収入-支出	0	1,645	1,645	

平成22年度 収支計画

北海道公立大学法人札幌医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備 考
経常費用	28,913	28,988	75	
業務費	27,617	26,977	△ 640	
教育研究経費	1,868	1,600	△ 268	
診療経費	10,402	10,641	239	
受託研究費等	436	300	△ 136	
役員人件費	93	88	△ 5	
教員人件費	4,457	4,059	△ 398	
職員人件費	10,361	10,289	△ 72	
一般管理経費	498	502	4	
財務費用	14	13	△ 1	
減価償却費	784	1,495	711	
経常収益	28,886	30,002	1,116	
運営費交付金収益	6,498	6,252	△ 246	
施設費収益	0	37	37	
授業料収益	797	770	△ 27	
入学金収益	92	81	△ 11	
検定料収益	16	15	△ 1	
附属病院収益	19,505	20,775	1,270	
受託研究等収益	504	421	△ 83	
寄附金収益	491	511	20	
雑益	553	610	57	
資産見返運営費交付金等戻入	52	54	2	
資産見返寄附金戻入	27	30	3	
資産見返補助金等戻入	39	86	47	
資産見返物品受贈額戻入	312	358	46	
経常損益	△ 27	1,013	1,041	
臨時損失	0	1	1	
臨時利益	0	1	1	
純損益	△ 27	1,013	1,040	
目的積立金取崩額	27	16	△ 11	
総利益	0	1,030	1,030	

(注) 金額の端数処理は百万未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

平成22年度 資金計画

北海道公立大学法人札幌医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備 考
資金支出	29,623	33,493	3,870	
業務活動による支出	28,170	27,443	△ 727	
投資活動による支出	1,179	1,575	396	
財務活動による支出	274	905	631	
翌年度への繰越金	0	3,570	3,570	
資金収入	29,623	33,493	3,870	
業務活動による収入	28,536	29,518	982	
運営費交付金による収入	6,528	6,407	△ 121	
授業料及び入学金検定料による収入	905	771	△ 134	
附属病院収入	19,505	20,434	929	
受託収入	458	432	△ 26	
寄附金収入	509	643	134	
その他収入	631	835	204	
預り科学研究費補助金等増減	0	△ 5	△ 5	
投資活動による収入	567	1,126	559	
施設費による収入	567	1,014	447	
その他収入	0	111	111	
財務活動による収入	520	520	0	
前年度よりの繰越金	0	2,329	2,329	

(注)金額の端数処理は百万未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。